

出発日:2026年12月 3日(木)

2024年に15年ぶりに全線復旧！阿里山鉄道本線を観光列車「栩悦号(Vivid Express)」で走破、祝山支線も全線乗車
「栩悦号」で行く阿里山鉄道本線走破と祝山支線乗車&溪湖製糖廠五分車・国家鉄道博物館

阿里山鉄道本線を栩悦号で走破！ 祝山支線も普通列車で全線乗車！ 糖廠五分車にも乗車！ 新鉄道博物館見学！

阿里山鉄道観光列車「栩悦号」(写真提供:日本旅行)



ポイント

- (1)15年ぶりに復旧した阿里山鉄道を本線のみならず祝山支線も全線乗車
- (2)阿里山鉄道本線は贅沢な観光列車「栩悦号」で走破
- (3)溪湖製糖廠五分車と阿里山鉄道に乗車で台湾ナローゲージを堪能
- (4)台北～嘉義は「自強号」、彰化～台北は「普悠瑪」乗車
- (5)2025年7月に第1期区域が公開された国家鉄道博物館を見学
- (6)航空機付きプラン(羽田発着)と現地のみプランを設定

行程表

	行程
① 12 / 3 (木)	羽田空港ご集合[05:50頃]、各自様でチェックイン 羽田空港[07:55発]→(CI223便)→台北(松山)空港[10:55着]—(MRT)—台北駅[昼] [現地のみプラン]台北駅集合(14:20) 台北[午後発]—(自強号)—嘉義[夕刻着]…市街レストランにて夕食[夕刻]…ホテル[夜] 【食事(航空付き)】朝:機/昼:×/夕:○ 【食事(現地のみ)】朝:×/昼:×/夕:○ 【宿泊】嘉義駅付近
② 12 / 4 (金)	ホテル[朝]…嘉義駅 <阿里山鉄道観光列車「栩悦号」で阿里山鉄道本線走破> 嘉義[09:30発]—◇北門[09:36着/09:51発]—◇樟腦寮[10:47着/11:27発]—独立山 (三重ループ)—◇梨園寮[11:51着/12:06発]—奮起湖[12:48着/14:00発、昼食]—◇十 字路[14:30着/15:00発]—二萬平[15:40着/16:10発]—◇神木[16:20着/16:50発] —阿里山[16:57着]…ホテル[夕刻] ご夕食は付近のレストランにて 【食事(両プラン共通)】朝:○/昼:弁/夕:○ 【宿泊】阿里山
③ 12 / 5 (土)	ホテル[早朝]…阿里山駅 <普通列車で阿里山鉄道祝山支線走破> 自由席利用となります。お座り いただけない場合があります。 阿里山[朝発]—(約30分)—祝山…付近散策(約60分)…祝山—(同)—阿里山[朝着] 付近食堂で朝食 阿里山駅[午前]= (途中「銀河鉄道望景餐厅」で昼食)=溪湖製糖廠[午後] <溪湖製糖廠五分車乗車> 溪湖[午後]—草埔—溪湖[夕刻]==(台鉄)彰化駅 彰化[夕刻発]—(普悠瑪号)—台北[夜着]…ホテル[夜] 【食事(両プラン共通)】朝:○/昼:○/夕:車中弁 【宿泊】台北駅付近
④ 12 / 6 (日)	ホテル[朝発]—(MRT)—◆国家鉄道博物館—(MRT)—ホテル[昼着] [現地のみプラン]ホテル着後解散(13:00) ホテル[午後]—(MRT)—台北(松山)空港[18:25発]→(CI222便)→羽田空港[22:15着] 【食事(航空付き)】朝:○/昼:×/夕:機 【食事(現地のみ)】朝:○/昼:×/夕:×

※当行程表は2026年9月17日現在のものです。確定の時刻は最終ご案内書面でご案内いたします。
※阿里山鉄道途中駅の観光は中国語のご案内となります。また座席タイプはご指定いただけません。
※→:航空、一:鉄道、=:バス(車)、…:徒歩、◆:入場観光、◇:下車観光、機:機内食、○:食事有、弁:弁当
※早朝04:00-06:00、朝06:00-08:00、午前08:00-12:00、昼12:00-13:00、午後13:00-17:00
夕刻17:00-19:00、夜19:00-23:00、深夜23:00-04:00、CI:チャイナエアライン(エコミックス)

溪湖製糖廠五分車(溪湖糖廠提供)



■ 溪湖製糖廠五分車

かつて台湾の主産業であった砂糖生産。当時は原料のサトウキビを軽便鉄道で工場まで輸送していた。現在は観光
鉄道として全国に数カ所残され、観光客に開放されている。
溪湖製糖廠では蒸気機関車も動態保存されており、第
二第四日曜日に運行されている。
(当ツアーではディーゼル機関車牽引となります)。
「五分車」とは世界標準の半分のゲージだったことから、この
ように呼ばれるようになった。

■ 阿里山鉄道(阿里山林業鐵道)

日本統治時代の1899年に木材資源輸送を目的として日本人によって建設された
森林山岳鉄道。線路幅762mm、最大勾配62%、最小曲線半径40mの険しい
線形で、始発の嘉義は海拔30mで終点の阿里山は海拔2,216mにあり熱帯、亜
熱帯、温帯、寒帯と植物生態帯が移り変わる。
トンネル47カ所、橋梁72カ所があり、途中の独立山では三重ループ線を有し、現在
では観光鉄道として人気を博す。
水害のため長年寸断していたが2024年に15年ぶりに全線復旧した。

■ 阿里山鉄道観光列車「栩悦号(Vivid Express)」

「栩悦号(Vivid Express)」は旧型車両を改装したもので、5両編成、全60席。小
グループや団体客用の半個室や360度回転椅子がある展望席などもあり、よりハイグ
レードな阿里山鉄道の旅を演出する。途中停車駅ではガイドによる周辺観光も行わ
れる(中国語による)。



「栩悦号」(日本旅行提供)



「栩悦号」(日本旅行提供)



「栩悦号」(日本旅行提供)

■ 国家鉄道博物館

2013年まで使用された台湾鐵路局の車両工場「台北機廠」で日本統治時代に
完成。ほぼ完全な形で残り、内燃機工場、事務所、大浴場などが第1期区域とし
て一般公開された。休日には「藍寶貴」と呼ばれた気動車の乗車体験も開催。



国家鉄道博物館(日本旅行提供)



国家鉄道博物館(日本旅行提供)
